

## 令和3年度第2回青梅市図書館運営協議会会議録

令和3年11月24日（水）午後6時  
青梅市中央図書館多目的室

### ○ 委嘱状の交付

橋本教育長から新委員に対し委嘱状の交付

#### 1 あいさつ

橋本教育長

#### 2 自己紹介

出席者全員

#### 3 青梅市図書館運営協議会委員について

（事務局）[資料にもとづき説明]

#### 4 会長・副会長選出

会長に沖川伸夫氏を選出

副会長に平岡直実氏を選出

（会長・副会長）あいさつ

#### 5 報告事項

##### (1) 指定管理者による図書館の管理運営について

（指定管理者）[資料にもとづき説明]

（会 長）多目的室の利用状況の「市制施行70周年記念展示 図書館資料で知る青梅」の説明として、会場で視聴覚資料を上映し好評であったとのことですが、どのようなものを上映しましたか。また、コロナ禍の中、どのような配慮をして実施しましたか。

（指定管理者）教育委員会制作の青梅市制記念映画フィルム等をDVD化したものを上映しました。会場は密にならないように空間を取り、最大5脚の椅子を置き、見ていただくという上映方法にしました。また、出入口近くにパソコンモニターを置き、映像を流したままの上映も行いましたので、気楽に立ち止ま

ってご覧いただくことも可能でした。

(会長) 学校関係の質問ですが、資料に記載されている業務関係の会議研修の欄の中で「重点校(藤橋小)打合せ」となっていますが、藤橋小が図書館関係の重点校に指定されているということですか。

また、緊急事態宣言が明けてからということと思いますが、学校の取組の中で、若草小での出張お話し会が積極的に行われていたと報告がありました。コロナ禍の中で、どのような形で実施しましたか。

(指定管理者) はい、藤橋小が今年度の学校連携推進重点校です。藤橋小に対する重点校事業として、10月30日に一日図書館長を実施しました。これは、藤橋小学校の児童4名を一日図書館長とし、図書館の中で図書の返却業務等を始めとした図書館事務を経験していただくものでした。今後の重点校事業として、11月以降に図書館見学やおはなし会を予定しています。

「出張おはなし会」は、学校からの御要望により、日程等調整の上、図書館から出向き、学校の教室等でおはなし会を行ってます。若草小では全学年から御希望があり、出張おはなし会を行いました。コロナ禍の中ですので、話し手は、教室で、先生の立つ教壇に透明な飛沫防止のスクリーンを置き、子どもたちと対面で実施しました。

(事務局) コロナ禍の中で、図書館サービスへの市民要望も様々いただいているところですが、現在は出来ることから感染対策をしてサービスを行っています。

(指定管理者) 昨年度は、4～5月の緊急事態宣言の休館時に予約図書の電話受付も出来ない状況でしたが、今年度は、5月の緊急事態宣言時に中央図書館で電話予約を受付け、窓口で予約資料の貸出をしたところ、利用者に変喜ばれました。ネットでも予約は出来ますが、青梅市は高齢者が多いためか、電話での問い合わせがかなり多かったですと感じました。

(事務局) 図書館への要望の中で、中央図書館の閲覧席の利用をしたいという要望も多かったと感じました。現在は、座席数を減らしてはいますが、お互いの距離を保つ等の対策を施し、利用を再開しています。

また、新型コロナウイルス感染症対策の補助金を使い、紫外線で除菌ができる

「図書除菌機」を、年内に図書館全館に設置予定です。より安全に図書館の本を利用していただけると考えています。

(委員) 今回、初めて委員として参加しましたが、図書館はとても頑張っていると感じました。保育園の図書はかなり充実してきていますが、各園の先生方にも図書館へ足を運んでいただき、刺激を受けることによって、もっと子どもたちに本を好きになってもらえるような図書コーナーの充実につながると思いました。保育園長会でもそのような話ができたらと考えています。また、「団体カード」についても周知できたら良いと思いました。

## (2) 第5回青梅市図書館を使った調べる学習コンクールについて

(指定管理者) [資料にもとづき説明]

(委員) 中学生の応募作品数が全体で9作品だったので、賞が5つあるにもかかわらず、市長賞と優良賞の受賞に留まっています。今回、審査員として参加しましたが、どうすれば応募作品を増やせるのか考えたとき、図書館と学校が連携したら増えるのではと思いました。子どもが学校で学んだことを通して興味を持ち、それを調べることにつながるよう、学校司書と連携して進められれば良いと思いました。

(会長) 応募数については、コロナの影響もあったと思いますが、過年度と比較し、応募者数の増減はありましたか。

(指定管理者) 令和2年度と比較し、今年は応募数が約100件減りました。令和元年度が約540件、平成30年度が500件でしたので、応募数は少し下がり気味になってきています。しかし、令和2年度は、全国コンクールにて優秀賞入選があり、コンクールを継続している成果であると考えます。

## 6 その他

(事務局) [来年度の予算要求および事務連絡]

(会長) 以上で本日予定していた案件は全て終了いたしました。委員の先生方の皆様には長時間に渡りまして御協議を賜りまして大変ありがとうございました。

これをもちまして、令和3年度第2回図書館運営協議会を閉会いたします。本日は大変御苦労さまでした。

以上